

再 処 理 施 設 の 使 用 計 画

2016 再 計 発 第 469号

2017年 1月 31日

原子力規制委員会 殿

住所 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字冲付4番地108
氏名 日本原燃株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 工藤 健二

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第46条の4及び使用済燃料の再処理事業に関する規則第7条の13第1項―(第2項、第3項)―の規定により次のとおり届け出ます。

工場又は事業所		名 称		再処理事業所						再処理設備の系列名				再処理設備							
		所 在 地		青森県上北郡六ヶ所村大字尾駈						年間の最大再処理能力（トン）				800							
年度別	項 目 期別	使用済燃料受入れ量		再 処 理 量		期 末 在 庫 量		プルトニウム製品		ウ ラ ン 製 品		その他の有用物質		期 末 在 庫 量							
		燃料体数 （体）※1	ウランの量 （トン）※2	燃料体数 （体）※1	ウランの量 （トン）※2	燃料体数 （体）	ウランの量 （トン）	生産量 （kg）※2	払出量 （kg）※2	生産量 （トン）※2	払出量 （トン）※2	生産量 （kg）	払出量 （kg）	プルトニウム製品 （kg）	ウラン製品 （kg）	その他の有用物質 （kg）					
2017年度	上 期	BWR	0	BWR	0	BWR	0	BWR	8583	BWR	1484										
		PWR	0	PWR	0	PWR	0	PWR	3486	PWR	1484	0	0	0	0	—	—	6656	365548	—	
	下 期	BWR	0	BWR	0	BWR	0	BWR	8583	BWR	1484										
		PWR	0	PWR	0	PWR	0	PWR	3486	PWR	1484	0	0	0	0	—	—	6656	365548	—	
	計	BWR	0	BWR	0	BWR	0														
		PWR	0	PWR	0	PWR	0					0	0	0	0	—	—				
2018年度	上 期	BWR	12	BWR	2	BWR	0	BWR	8595	BWR	1486										
		PWR	7	PWR	3	PWR	0	PWR	3493	PWR	1487	0	0	0	0	—	—	6656	365548	—	
	下 期	BWR	12	BWR	2	BWR	282	BWR	8324	BWR	1440										
		PWR	7	PWR	3	PWR	73	PWR	3427	PWR	1458	1967	0	109	0	—	—	8623	474613	—	
	計	BWR	24	BWR	4	BWR	282	BWR	48												
		PWR	14	PWR	6	PWR	73	PWR	32			1967	0	109	0	—	—				
2019年度	上 期	BWR	141	BWR	24	BWR	753	BWR	128	BWR	7712	BWR	1336								
		PWR	36	PWR	16	PWR	0	PWR	0	PWR	3463	PWR	1474	2285	0	117	0	—	—	10908	591711
	下 期	BWR	141	BWR	24	BWR	376	BWR	64	BWR	7477	BWR	1296								
		PWR	36	PWR	16	PWR	291	PWR	128	PWR	3209	PWR	1362	3427	3570	176	0	—	—	10765	767358
	計	BWR	282	BWR	48	BWR	1129	BWR	192												
		PWR	73	PWR	32	PWR	291	PWR	128			5712	3570	293	0	—	—				
合 計		BWR	306	BWR	52	BWR	1412	BWR	240												
		PWR	86	PWR	38	PWR	364	PWR	160			7679	3570	402	0	—	—				

〔燃料体の種類の略号〕 BWRは発電用の軽水減速、軽水冷却、沸騰水型原子炉の使用済ウラン燃料を示す。PWRは発電用の軽水減速、軽水冷却、加圧水型原子炉の使用済ウラン燃料を示す。

注 記： ウランの量は照射前金属ウラン質量換算とする。

プルトニウム製品は、ウラン・プルトニウム混合酸化物製品の金属ウラン及び金属プルトニウムの合計質量換算とする。

ウラン製品は、ウラン酸化物製品の金属ウランの質量換算とする。

ウラン試験に用いた劣化ウラン（金属ウラン質量換算：51.7 t・U）は、ウラン製品には含めない。

使用済燃料による総合試験中の再処理量等を含む。

※1： 燃料体数が確定していない場合、ウランの量より算出し、各欄毎に端数処理（四捨五入）を実施しているため、上期・下期の和と計が一致しない場合がある。

※2： 各欄毎に端数処理（四捨五入）を実施しているため、上期・下期の和と計が一致しない場合がある。

※3： 2019年度上期から当社ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料加工施設でホット試験及び操業を開始するため、2019年度下期のプルトニウム製品払出量3570kgの一部を上期に払い出す。